

責任

制度の概要

定義 「違法行為から生じる法的関係の総体」

責任の主体

責任制度の存在理由

構造 「国家が違法行為をすれば、責任を負う」

「過失」は？ 藤田 pp. 241-244

帰属

国家機関の行為

国家機関かどうかは国際法が決める 草案4条

国家機関の行為かどうかも国際法が決める 草案7条

権限踰越

国家のでない行為につき責任を負う？ 「私人行為に関する」国家責任

外交的保護制度の復習 藤田 p. 254-

ペルー人質事件

テヘラン人質事件 判例 87

トレイル熔鉱所事件 判例 98

9.11の「攻撃」

他国の行為については？

日本赤軍強制送還事件 資料

特殊な責任？

「国家の国際犯罪」 藤田 p. 267-

適法行為に基づく責任？ 藤田 p. 244-

用語の問題 藤田 p. 245 危険責任・絶対責任・厳格責任・無過失責任・客観責任

どのような場合に責任が認められるか

適法行為責任を認める条約の類型 藤田 p. 246

制度の限界

違法性を証明することが困難な場合、事実上無力

責任をとって賠償してもらっても無意味な場合あり

責任をとれない国に賠償請求しても無意味